

VOICE 核兵器のない世界実現に歩み続けよう

～声は着実に届いている～

平和と登山委員会 佐々木雅博

5月6日東京を出発した「平和行進」が大阪に向かっている。6月21日滋賀から京都へ、26日京都から奈良へ、そして6月30日大阪へ引き継がれ7月7日川西市で兵庫に引き渡され、8月4日広島・平和公園に到着、原水爆世界大会で報告される。

核兵器禁止の動きは着実に広がっている、2017年に採択された「禁止条約」は現在23ヶ国で批准され50ヶ国を越えると成立し法的拘束力のある国際条約になります。被爆国日本の政府はこの流れに反対しているからややこしい、参議院選挙では「非核平和外交」を要求しましょう。

6月17日の学習会には12人の参加者を得て開かれ テーマ①反核運動と平和行進（大阪原水協・続さん）の話を聴きました。①新事実として浮かびあがったのは、1954年ビキニ環礁で行われた水爆実験で被爆したマグロ漁船員に対する賠償問題と戦争犯罪人の釈放を絡めて政治取引をおこなっていたことです。（日本側が要求、2018年10月合意文書開示）

②2020年は国連で大規模なデモが行われる事、参加者募集しています。

大阪労山の平和行進参加者は毎年100人前後です。6月30日から8日間、それぞれのコースで歩きましょう。

テーマ②は福島原発関西訴訟団の報告（ピトンの会・菅野さん、原告団副団長）では、労山の裁判支援に感謝、避難者の生活状況、裁判の概況説明（パワーポイントで説明）、がありました。

避難から既に8年が経過、避難者の生活環境が後戻りできない状態に変化する中で国と東京電力の不誠実な引き延ばし戦術？との闘いとなり、国民世論の支持が頼りになっています。

労山会員として放射能汚染という環境破壊を許さない立場で支援を続けたいと思います。

（次回口頭弁論は8月22日14時～大阪地裁、傍聴希望者は13時15分地裁前集合で傍聴券抽選があります）

